

Ⅱ 特別対策事業の 点検結果の総括

1 特別対策事業の総括（まとめ）

全体の総括

施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリングの調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見等を踏まえて、11の特別対策事業の多面的な評価を行った。

第3期5か年計画における11事業全体の事業費の執行状況ならびに事業進捗については、令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベント等の開催を自粛したため県民フォーラム等の取組は実施できなかったが、その他の事業については概ね計画通りであった。

森林関係事業では、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域やその周辺地域でのシカ管理、ブナ林再生のための調査研究等に取り組んだ結果、人工林の手入れ不足は解消しつつあり、下層植生の回復や、健全なブナの個体数の割合が向上する等の成果が確認されているが、想定された下草の回復が見られない箇所もある等、水源環境の回復に向けた課題を改めて認識した。また、水源林の基盤整備事業では、令和元年東日本台風や令和3年豪雨により事業予定箇所の崩壊が大規模化・多様化し、事業予定箇所や工法の見直しが生じたこと等により、第3期5か年計画の当初目標の達成には至らなかった。次期計画では、現場状況に応じた着実な整備を期待したい。

森林の公益的機能を持続させるための取組等の課題は引き続きあるものの、森林の保全・再生に関しては、概ね順調に進められていると評価できる。私有林における民間主体の持続的・自立的な森林管理につなげるため、今後は多様な視点から大綱終了後を見据えた取組が行われるように期待したい。

水関係事業では、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における生活排水処理施設の整備促進等を着実に進めてきた結果、河川の自然環境の改善や生活排水処理の進展等、一定の成果が見られている。河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しているが、水源環境への負荷軽減（県内ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進、相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域（ダム集水域を除く）の合併処理浄化槽への転換促進）に関しては、整備促進上の課題に対して地域の実情等に応じたきめ細かい支援を検討していくことで、水源河川の水質の維持向上への効果も期待したい。

事業評価においては、事業の実施と並行して新たな科学的知見を反映することや、事業実施に伴う自然環境の状況を把握しながら施策の評価と見直しを行い、柔軟な施策の推進を図る必要がある。こうした順応的管理の考え方の下、第3期からの新たな取組として、水源林の土壤保全対策を強化したほか、シカの生息密度の上昇が見られる箱根山地の山陵部でのシカの管理捕獲や、水源環境への負荷軽減に向けて生活排水処理施設の整備に係る事業対象地域を拡大する等、第2期までの取組や課題を踏まえた事業の見直しが行われたことは、評価ができる。

また、県民会議では、これまで取組を進めてきた結果、どのような水源環境の変化が見えてきたのか等、モニタリングの結果をもとに定量的あるいは定性的に総合的な評価を行うため10の指標を設定し、それらの指標を用いて総合的な評価（中間評価）報告書及び次期（第4期）実行5か年計画に関する意見書を取りまとめ、県に提出した。これを受けて県では、第4期計画において、これまでの取組を基本的に継続するとともに、今後想定される台風等の自然災害を見据えた林地保全対策に取り組むこととしており、今後の事業展開に期待したい。

また、気候変動による災害頻発への懸念や台風等による災害の発生状況を踏まえて、森林の生育基盤である土壤の保全を図っていくには、土壤保全対策とシカ管理対策の有機的な連携が有効である。そして、水の十分な管理や水質保持の観点からダムの堆砂対策等、水と土砂を一体のものとして施策を考えていくことも重要な課題である。よって県の関係部署において、より一層の情報共有と連携を図り、総合的な視点での事業進捗に努めていただきたい。

2 事業費実績及び進捗状況一覧

特別対策事業	第3期計画の内容 (5年間計(H29~R3)) (A)	H29年度決算 (B)	H30年度決算 (C)	R1年度決算 (D)	R2年度決算 (E)
森林の保全・再生	13,221,000千円	2,776,743千円	2,786,166千円	2,767,852千円	2,744,817千円
水源の森林づくり事業の推進 (一般会計分を含めた金額)	6,244,000千円 (12,875,000千円)	1,481,234千円 (2,764,727千円)	1,355,076千円 (2,609,666千円)	1,465,978千円 (2,676,855千円)	1,274,908千円 (2,444,077千円)
①水源林の確保	2,700ha	746ha	685ha	535ha	429ha
②水源林の整備	13,400ha	2,862ha	3,331ha	3,199ha	3,384ha
③かながわ森林塾の実施 (新規就労者の育成)	50人	10人	6人	10人	10人
丹沢大山の保全・再生対策	1,252,000千円	249,301千円	226,399千円	233,837千円	295,248千円
①中高標高域シカ管理捕獲	150箇所	37箇所	37箇所	35箇所	33箇所
②ブナ林等の再生	-	-	-	-	-
③県民連携・協働事業	-	-	-	-	-
土壌保全対策の推進	1,310,000千円	178,038千円	292,730千円	173,330千円	213,002千円
①水源林の基盤整備	70箇所	3箇所	22箇所	1箇所	7箇所
②中高標高域の自然林	55ha	18.10ha	11.6ha	11.89ha	9.10ha
③高標高域の人工林	60ha	11.46ha	12.65ha	13.89ha	12.07ha
間伐材の搬出促進	1,550,000千円	296,768千円	306,860千円	295,719千円	304,908千円
①搬出事業量	120,000m ³	24,262m ³	25,244m ³	24,475m ³	27,178m ³
②生産指導事業量	50箇所	11箇所	12箇所	12箇所	10箇所
地域水源林整備の支援	2,865,000千円	571,400千円	605,100千円	598,987千円	656,749千円
①私有林確保	840ha	150ha	189ha	137ha	154ha
②私有林整備	1,360ha	210ha	252ha	276ha	293ha
③市町村有林の整備	435ha	118ha	95ha	58ha	65ha
④高齢級間伐	100ha	17ha	16ha	15ha	15ha
河川の保全・再生	1,490,000千円	226,366千円	182,934千円	275,093千円	208,219千円
河川・水路における自然浄化対策の推進	1,490,000千円	226,366千円	182,934千円	275,093千円	208,219千円
①河川・水路の整備	10箇所	4箇所	2箇所	2箇所	2箇所
地下水の保全・再生	396,000千円	109,800千円	114,200千円	64,200千円	70,300千円
地下水保全対策の推進	396,000千円	109,800千円	114,200千円	64,200千円	70,300千円
①地下水保全計画の策定	-	-	-	-	-
②地下水かん養対策	-	-	-	-	-
③地下水汚染対策	-	-	-	-	-
④地下水モニタリング	-	-	-	-	-
水源環境への負荷軽減	3,483,000千円	643,563千円	615,792千円	713,782千円	709,982千円
生活排水処理施設の整備促進	3,483,000千円	643,563千円	615,792千円	713,782千円	709,982千円
①公共下水道整備	-	21ha	18ha	21ha	17ha
②一般家庭等の高度処理型浄化槽整備	-	128基	116基	95基	79基
③事業所等の高度処理型浄化槽整備	-	4基	3基	6基	1基
④一般家庭の浄化槽転換	-	60基	71基	84基	92基
県内水源保全地域の生活排水処理率	96.0%	94.6%	94.8%	95.0%	95.1%
うちダム集水域の生活排水処理率	80.8%	67.5%	70.3%	71.4%	72.6%
水源環境保全・再生を支える取組	1,460,000千円	183,198千円	287,328千円	340,526千円	260,946千円
相模川水系上流域対策の推進	190,000千円	34,510千円	34,977千円	36,036千円	34,663千円
①荒廃森林再生事業	728ha	164.24ha	147.12ha	148.37ha	149.01ha
②広葉樹の森づくり事業	10ha	0ha	0.48ha	2.82ha	1.73ha
③生活排水対策 (放流水の目標全リン濃度)	0.6mg/l	0.40mg/l	0.51mg/l	0.56mg/l	0.36mg/l
水環境モニタリングの実施	1,040,000千円	118,858千円	221,780千円	280,427千円	215,533千円
①森林のモニタリング調査	-	-	-	-	-
②河川のモニタリング調査	-	-	-	-	-
③情報提供	-	-	-	-	-
④酒匂川水系上流域の現状把握	-	-	-	-	-
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	230,000千円	29,829千円	30,570千円	24,062千円	10,750千円
①県民会議の運営等	-	-	-	-	-
②市民事業等の支援	-	-	-	-	-
特別対策事業費の計	20,050,000千円	3,939,671千円	3,986,420千円	4,161,454千円	3,994,265千円
水源環境保全税額	-	4,072,756千円	4,174,965千円	4,220,597千円	4,352,255千円

※ 進捗率は3期計画5年間計に対する進捗。事業によって5年間の進捗ペースに偏りがある。事業ごとの詳細は「Ⅲ 各事業の概要と点検結果」の総括を参照。
 予算は事業内容によって5年間の配分に偏りがある。
 千円未満切り捨てのため合計は次ページの執行額と一致しないことがある。

2 事業費実績及び進捗状況一覧

特別対策事業	R3年度決算 (F)	計 (B+C+D+E+F)	進捗率 ((B+C+D+E+F)/A)
森林の保全・再生	2,631,737千円	13,707,315千円	103.7%
水源の森林づくり事業の推進 (一般会計分を含めた金額)	1,096,406千円 (2,271,415千円)	6,673,602千円 (12,766,740千円)	106.9% 99.2%
①水源林の確保	501ha	2,896ha	107.3%
②水源林の整備	3,659ha	16,435ha	122.6%
③かながわ森林塾の実施 (新規就労者の育成)	10人	46人	92.0%
丹沢大山の保全・再生対策	328,034千円	1,332,819千円	106.5%
①中高標高域シカ管理捕獲	34箇所	176箇所	117.3%
②ブナ林等の再生	-	-	-
③県民連携・協働事業	-	-	-
土壌保全対策の推進	310,760千円	1,167,860千円	89.1%
①水源林の基盤整備	6箇所	39箇所	55.7%
②中高標高域の自然林	12.60ha	63.24ha	115.0%
③高標高域の人工林	23.88ha	73.95ha	123.3%
間伐材の搬出促進	283,955千円	1,488,210千円	96.0%
①搬出事業量	25,370m ³	126,529m ³	105.4%
②生産指導事業量	11箇所	56箇所	112.0%
地域水源林整備の支援	612,580千円	3,044,816千円	106.3%
①私有林確保	74ha	704ha	83.8%
②私有林整備	283ha	1,314ha	96.6%
③市町村有林の整備	67ha	403ha	92.6%
④高齢級間伐	12ha	75ha	75.0%
河川の保全・再生	207,388千円	1,100,000千円	73.8%
河川・水路における自然浄化対策の推進	207,388千円	1,100,000千円	73.8%
①河川・水路の整備	0箇所	10箇所	100.0%
地下水の保全・再生	65,800千円	424,300千円	107.1%
地下水保全対策の推進	65,800千円	424,300千円	107.1%
①地下水保全計画の策定	-	-	-
②地下水かん養対策	-	-	-
③地下水汚染対策	-	-	-
④地下水モニタリング	-	-	-
水源環境への負荷軽減	800,179千円	3,483,298千円	100.0%
生活排水処理施設の整備促進	800,179千円	3,483,298千円	100.0%
①公共下水道整備	14ha	91ha	-
②一般家庭等の高度処理型浄化槽整備	86基	504基	-
③事業所等の高度処理型浄化槽整備	1基	15基	-
④一般家庭の浄化槽転換	90基	397基	-
県内水源保全地域の生活排水処理率	95.5%	95.5%	66.7%
うちダム集水域の生活排水処理率	74.1%	74.1%	54.4%
水源環境保全・再生を支える取組	181,652千円	1,253,650千円	85.9%
相模川水系上流域対策の推進	34,957千円	175,143千円	92.2%
①荒廃森林再生事業	149.75ha	758.49ha	104.2%
②広葉樹の森づくり事業	3.46ha	8.49ha	84.9%
③生活排水対策 (放流水の目標全リン濃度)	0.58mg/l	0.48mg/l	-
水環境モニタリングの実施	134,918千円	971,516千円	93.4%
①森林のモニタリング調査	-	-	-
②河川のモニタリング調査	-	-	-
③情報提供	-	-	-
④酒匂川水系上流域の現状把握	-	-	-
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	11,776千円	106,987千円	46.5%
①県民会議の運営等	-	-	-
②市民事業等の支援	-	-	-
特別対策事業費の計	3,886,757千円	19,968,567千円	99.6%
水源環境保全税額	4,352,255千円	21,172,828千円	-

予算執行状況の内訳について

	平成29年度 当初予算額	平成29年度 執行額	平成29年度 単年度執行率	平成30年度 当初予算額	平成30年度 執行額	平成30年度 単年度執行率
1 水源の森林づくり事業の推進	1,673,468	1,481,234	88.5%	1,658,065	1,355,076	81.7%
①水源林の確保【特別会計分】		340,686			317,863	
		【確保手法別】 (水源協定林) (買取り) (長期受委託) (協力協約)			【確保手法別】 (水源協定林) (買取り) (長期受委託) (協力協約)	
②水源林の整備【特別会計分】(森林整備) (管理道、測量・調査等) (水源林事業推進費)		784,899			624,625	
		273,058			330,950	
		26,770			27,668	
③かながわ森林塾の実施		55,820			53,970	
2 丹沢大山の保全・再生対策	271,570	249,301	91.7%	283,276	226,399	79.9%
①中高標高域シカ管理捕獲		164,153			179,761	
②ブナ林等の再生		37,023			29,210	
③県民連携・協働事業		48,124			17,428	
3 土壌保全対策の推進	244,608	178,038	72.7%	259,296	292,729	112.8%
①水源林の基盤の整備		37,174			95,914	
②中高標高域の自然林		103,962			137,106	
③高標高域の人工林		36,901			59,709	
4 間伐材の搬出促進	298,026	296,768	99.5%	310,176	306,860	98.9%
①間伐材の搬出支援		273,312			281,790	
②生産指導活動の推進		23,456			25,070	
5 地域水源林整備の支援	610,800	571,400	93.5%	640,100	605,100	94.5%
①②私有林の確保・整備(市町村)		441,431			510,400	
③市町村有林の整備(市町村)		124,969			89,700	
④高齢級間伐		5,000			5,000	
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	243,800	226,366	92.8%	193,300	182,934	94.6%
①河川・水路の整備		226,366			182,934	
7 地下水保全対策の推進	122,900	109,800	89.3%	118,300	114,200	96.5%
①地下水保全計画の策定		0			0	
②地下水かん養対策		90			2,380	
③地下水汚染対策		33,100			41,874	
④地下水モニタリング		76,610			69,946	
8 生活排水処理施設の整備促進	655,798	643,563	98.1%	681,328	615,792	90.3%
①公共下水道の整備促進		402,474			345,746	
②一般家庭等の高度処理型処理浄化槽の整備		178,268			159,609	
③事業所等の高度処理型浄化槽の整備		24,623			64,945	
④一般家庭の浄化槽転換		38,198			45,492	
9 相模川水系上流域対策の推進	38,218	34,510	90.3%	38,402	34,977	91.1%
①荒廃森林再生事業		20,000			19,596	
②広葉樹の森づくり事業		0			403	
③生活排水対策		14,510			14,977	
10 水環境モニタリングの実施	151,551	118,858	78.4%	249,418	221,779	88.9%
①森林のモニタリング調査		110,106			115,581	
②河川のモニタリング調査等		8,752			106,198	
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	47,303	29,829	63.0%	45,280	30,570	67.5%
①県民会議の運営等		22,775			24,781	
②市民事業等の支援		7,054			5,789	
合 計	4,358,042	3,939,671	90.4%	4,476,941	3,986,420	89.0%

※ 平成30年度の「3 土壌保全対策の推進」執行額は、平成29年度からの繰り越しを含むため当初予算を超えている。
千円未満切り捨てのため、合計が一致しない場合がある。

※ 進捗率：第3期5か年計画の計画事業量を100としたときの事業の進捗状況を表わす
執行率：第3期5か年計画の計画事業費を100としたときの事業費の執行状況を表わす

	令和元年度 当初予算額	令和元年度 執行額	令和元年度 単年度執行率	令和2年度 当初予算額	令和2年度 執行額	令和2年度 単年度執行率
1 水源の森林づくり事業の推進	1,714,752	1,465,978	85.4%	1,608,636	1,274,908	79.2%
①水源林の確保【特別会計分】		322,677			263,334	
		【確保手法別】 (水源協定林) (買取り) (長期受委託) (協力協約)			【確保手法別】 (水源協定林) (買取り) (長期受委託) (協力協約)	
②水源林の整備【特別会計分】(森林整備) (管理道、測量・調査等) (水源林事業推進費)		664,274			779,076	
		387,699			145,258	
		33,845			40,565	
③かながわ森林塾の実施		57,483			46,675	
2 丹沢大山の保全・再生対策	260,973	233,837	89.6%	358,008	295,248	82.4%
①中高標高域シカ管理捕獲	204,421	185,087		214,462	186,182	
②ブナ林等の再生	37,329	31,701		43,571	36,061	
③県民連携・協働事業	19,223	17,049		99,975	73,005	
3 土壌保全対策の推進	250,377	173,330	69.2%	268,588	213,002	79.3%
①水源林の基盤の整備	77,219	14,431		75,195	50,312	
②中高標高域の自然林	131,478	122,977		149,554	127,127	
③高標高域の人工林	41,680	35,922		43,839	35,563	
4 間伐材の搬出促進	304,646	295,719	97.0%	305,206	304,908	99.9%
①間伐材の搬出支援	280,400	271,473		280,960	280,662	
②生産指導活動の推進	24,246	24,246		24,246	24,246	
5 地域水源林整備の支援	650,500	598,988	92.0%	699,536	656,750	93.8%
①②私有林の確保・整備(市町村)		507,320			544,073	
③市町村有林の整備(市町村)		86,680			107,727	
④高齢級間伐	5,000	4,988		10,436	4,950	
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	336,000	275,093	81.8%	361,000	208,219	57.6%
①河川・水路の整備		275,093			208,219	
7 地下水保全対策の推進	70,600	64,200	90.9%	73,700	70,300	95.4%
①地下水保全計画の策定		0			0	
②地下水かん養対策		0			2,300	
③地下水汚染対策		12,600			13,100	
④地下水モニタリング		51,600			54,900	
8 生活排水処理施設の整備促進	737,159	713,782	96.8%	743,583	709,982	95.4%
①公共下水道の整備促進		470,322			515,155	
②一般家庭等の高度処理型処理浄化槽の整備		139,909			118,262	
③事業所等の高度処理型浄化槽の整備		48,378			5,429	
④一般家庭の浄化槽転換		55,173			71,136	
9 相模川水系上流域対策の推進	39,189	36,036	92.0%	39,441	34,663	87.9%
①荒廃森林再生事業		18,102			17,917	
②広葉樹の森づくり事業		1,898			2,083	
③生活排水対策		16,036			14,663	
10 水環境モニタリングの実施	306,333	280,427	91.5%	202,167	215,534	106.6%
①森林のモニタリング調査	175,056	150,904		158,546	175,431	
②河川のモニタリング調査等	131,277	129,523		43,621	40,103	
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	45,269	24,062	53.1%	42,514	10,750	25.2%
①県民会議の運営等		20,945			8,942	
②市民事業等の支援		3,117			1,808	
合 計	4,715,798	4,161,454	88.2%	4,702,379	3,994,264	84.9%

(単位：千円)

	令和3年度 当初予算額	令和3年度 執行額	令和3年度 単年度執行率	第3期5か年 単位当たり執行額
1 水源の森林づくり事業の推進	1,123,081	1,096,406	97.6%	
①水源林の確保【特別会計分】		253,823		5,051千円/ha 12,338千円/ha 1,150千円/ha 12千円/ha
②水源林の整備【特別会計分】（森林整備） （管理道、測量・調査等）		742,265		511千円/ha
（水源林事業推進費）		8,507		—
③かながわ森林塾の実施	54,140	51,956		5,781千円/人 （新規就労）
2 丹沢大山の保全・再生対策	361,844	328,034	90.6%	
①中高標高域シカ管理捕獲	189,845	172,459		5,043千円/箇所
②ブナ林等の再生	88,905	86,267		—
③県民連携・協働事業	83,094	69,307		—
3 土壌保全対策の推進	384,713	310,760	80.7%	※
①水源林の基盤の整備	136,221	74,425		1,290千円/箇所
②中高標高域の自然林	181,113	169,900		2,010千円/ha
③高標高域の人工林	67,379	66,435		481千円/ha
4 間伐材の搬出促進	303,769	283,955	93.4%	
①間伐材の搬出支援	302,769	283,231		2千円/m ³
②生産指導活動の推進	1,000	724		—
5 地域水源林整備の支援	650,640	612,580	94.1%	
①②私有林の確保・整備（市町村）		513,303		3,571千円/ha
③市町村有林の整備（市町村）		96,197		1,256千円/ha
④高齢級間伐	5,140	3,080		311千円/ha
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	259,288	207,388	79.9%	
①河川・水路の整備		207,388		110,001千円/箇所
7 地下水保全対策の推進	66,800	65,800	98.5%	
①地下水保全計画の策定		0		—
②地下水かん養対策		2,800		1,263千円/市町・年
③地下水汚染対策		14,100		22,956千円/市町・年
④地下水モニタリング		48,900		6,040千円/市町・年
8 生活排水処理施設の整備促進	818,712	800,179	97.7%	
①公共下水道の整備促進		520,641		30,303千円/ha
②一般家庭等の高度処理型処理浄化槽の整備		127,336		1,497千円/基
③事業所等の高度処理型浄化槽の整備		79,311		5,429千円/基
④一般家庭の浄化槽転換		72,891		773千円/基
9 相模川水系上流域対策の推進	36,237	34,957	96.4%	
①荒廃森林再生事業		18,110		—
②広葉樹の森づくり事業		1,889		—
③生活排水対策	16,237	14,957		—
10 水環境モニタリングの実施	155,915	134,918	86.5%	
①森林のモニタリング調査	117,087	96,986		—
②河川のモニタリング調査等	38,828	37,932		—
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	15,721	11,776	74.9%	
①県民会議の運営等	13,060	10,195		—
②市民事業等の支援	2,661	1,581		301千円/団体
合 計	4,176,720	3,886,757	93.0%	

平成29年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税) 4,072,756千円		特別対策事業 事業費 3,939,671千円	
基金運用益	26千円	基金等	831,364千円 ※30年度以降の財源として活用
寄附金	987千円		
預金利子等	300千円		
基金等	696,965千円		
合計	4,771,035千円	合計	4,771,035千円

平成30年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税) 4,174,965千円		特別対策事業 事業費 3,986,420千円	
基金運用益	29千円	基金等	1,022,510千円 ※R元年度以降の財源として活用
寄附金	2,463千円		
預金利子等	109千円		
基金等	831,364千円		
合計	5,008,931千円	合計	5,008,931千円

令和元年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税) 4,220,597千円		特別対策事業 事業費 4,161,454千円	
基金運用益	64千円	基金等	1,085,141千円 ※R2年度以降の財源として活用
寄附金	3,045千円		
預金利子等	378千円		
基金等	1,022,510千円		
合計	5,246,594千円	合計	5,246,595千円

令和2年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)		特別対策事業 事業費	
4,352,255千円		3,994,265千円	
基金運用益	43千円	基金等 1,445,105千円 ※R3年度以降の財源として活用	→
寄附金	1,763千円		
預金利子等	167千円		
基金等	1,085,141千円		
合計	5,439,369千円	合計	5,439,370千円

令和3年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税)		特別対策事業 事業費	
4,286,588千円		3,886,757千円	
基金運用益	37千円	基金等 1,846,286千円 ※R4年度以降の財源として活用	→
寄附金	1,147千円		
預金利子等	166千円		
基金等	1,445,105千円		
合計	5,733,043千円	合計	5,733,043千円

※千円未満切り捨てのため、端数は一致しない

水源環境保全・再生施策に係る事業費は、県民の皆様特別な負担をいただいている個人県民税の超過課税を主な財源としていることから、その税収額及び使途を明確にするため、特別会計の中に基金を設置して管理をしています。各年度の事業が終了した時点の不用額は、基金に積み戻し、翌年度の事業の財源として活用しています。

基金等には、超過課税と事業費の差額や、入札により予定金額より低額で事業を執行したための残額、翌年度に繰り越した事業費などが含まれています。

第3期実行5カ年計画で生じた基金等の残額については、第4期実行5カ年計画の財源の一部として活用していきます。